

審査 設計者

令和 7 年度 実施設計書

委 託 名 令和 7 年度道路防災国交付金事業（防災・安全交）（国）3 6 2 号
道路防災点検業務（山東 - 小石間・その 2）

路線河川名 （国）3 6 2 号

委 託 箇 所 浜松市天竜区春野町領家地内外

委 託 金 額

委 託 期 間 令和 7 年 1 2 月 1 9 日限り

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 7 月 基本単価 令和 7 年 7 月

地区コード 2 2 9 地区

起 終 点 指 定 ⇔

委 託 概 要

道路防災点検業務

安定度調査の実施 N=13箇所



【発注箇所座標】緯度:34度56分6.217秒 経度:137度52分53.252秒, X:-56505m Y:-117968m

1:50000

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 XXXXX、第XXXXX号)

位置図

測量試験費内訳表（総括）

[illegible][illegible]

測量試験費内訳表					
区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路施設点検業務委託					
直接人件費					
- 施設点検業務	式	1			
-- 道路防災点検業務	式	1			
--- 計画準備	式	1			
---- 計画準備	業務	1			施設第 1号表 見張 ME900
---- 安定度調査の実施	式	1			
---- 点検実施計画書作成	箇所	13			施設第 2号表 見張 ME910
---- 安定度調査(現地調査) 落石・崩壊 N=4箇所	式	1			施設第 3号表 見張 ME700

測量試験費内訳表					
区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 安定度調査(現地調査) 岩盤崩壊 N=1箇所	式	1			施設第 5号表 見張 ME710
---- 安定度調査(現地調査) 土石流 N=5箇所	式	1			施設第 7号表 見張 ME730
---- 安定度調査(現地調査) 擁壁 N=3箇所	式	1			施設第 11号表 見張 ME750
---- 安定度調査結果の整理 N=13箇所	式	1			施設第 14号表 見張 ME800
--- 道路防災カルテ点検	式	1			
---- 道路防災カルテ作成(現地調査) N=10箇所	式	1			施設第 18号表 見張 ME850
---- 防災カルテ作成	箇所	10			施設第 24号表 見張 ME860
--- 道路防災カルテ点検結果一覧表の作成	式	1			
---- 道路防災点検結果一覧表の作成	業務	1			施設第 25号表 見張 ME870

測量試験費内訳表					
区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 防災対策計画の策定	式	1			
---- 防災対策工事実施計画の策定	箇所	4			施設第 26号表 4x4.3=1箇所、5x4.3=2箇所、3x4.3=1箇所 見取
--- 打合せ・報告書の作成	式	1			
---- 打合せ等 中間打合せ=5回	業務	1			施設第 27号表
---- 報告書の作成	業務	1			施設第 28号表 見取
直接人件費計					
直接経費					
旅費交通費(率)(区分:調査、計画)	式	1			
電子成果品作成費(その他)	式	1			

測量試験費内訳表					
区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
安全費(率) その他	式	1			
直接経費計					
直接原価					
その他原価	式	1			
業務原価					
一般管理費等	式	1			
業務価格計					

ME900 設備準備 施設第 1号表					
金 円 1 単位 当り	見値				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
計	人				

1, #等: 諸経費等対象額

ME910 点検実施計画書作成 施設第 2号表					
金 円 100 単位 当り	見値				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
計	人				
単価	箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME700			安定度調査(現地調査)		施設第 3号表			
金 円			1式当り		見積			
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
落石・崩壊 H<50m			箇所	4			施設第 4号表 見積	ME701
計								

1, #等: 諸経費等対象額

ME701		落石・崩壊 H<50m		施設第 4号表		
金	円	10 箇所 当り		見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
小計						
高さ補正率						
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME710						
安定度調査（現地調査）						
岩盤調査						
H=1箇所						
施設第 5号表						
金	円	1 式 当り		見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
正統道 石垣崩壊 H<50m		箇所	1			施設第 6号表 見積 ME711
計						

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 1 1		岩盤調査 H<50m		施設第 6号表		
金 円		10 箇所 当り		見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
小計						
高さ補正率						
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 3 0			安定度調査 (現地調査)		施設第 7号表		
金 円			1 式 当り		見積		
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土石流 20,000m2≦A<30,000m2			箇所	1			施設第 8号表 見積 ME735
土石流 30,000m2≦A<50,000m2			箇所	3			施設第 9号表 見積 ME736
土石流 100,000m2≦A			箇所	1			施設第 10号表 見積 ME738
計							

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 3 5			土石流 20,000㎡≤A<30,000㎡		施設第 8号表	
金 円		10 箇所 当り		月額		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
小計		人				
面積補正率						
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 3 6		土石流 30,000円以下<30,000円		施設第 9号表		
金	円	10 箇所 当り		見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
小計						
面積補正率						
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 3 8						
金 円		10 箇所 当り		施設第 10号表		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
小計						
面積補正率						
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 5 0						
		安定度調査（現地調査）		施設第 11号表		
金 円		1 式 当り		見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
擁壁 A<250㎡		箇所	2			施設第 12号表 見積 ME751
擁壁 500㎡2≤A<1,000㎡2		箇所	1			施設第 13号表 見積 ME753
計						

1, #等: 諸経費等対象額

ME 7 5 1			擁壁 K<250m2			施設第 1 2号表		
金 円			1 0 箇所 当り			円値		
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
技師 (A)			人					
技師 (C)			人					
技術員			人					
小計								
面積補正率								
計								
単価			箇所					

1, #等: 諸経費等対象額

ME753					
金 円 10 箇所 当り			見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
小計					
面積補正率					
計					
単価	箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME800					
金 円 1 式 当り			見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
安定度調査結果の整理 落石・崩壊	箇所	4			施設第 15号表 ME801 見積
安定度調査結果の整理 岩盤崩壊	箇所	1			施設第 16号表 ME802 見積
安定度調査結果の整理 土石流	箇所	5			施設第 17号表 ME804 見積
安定度調査結果の整理 擁壁	箇所	3			施設第 18号表 ME806 見積
計					

1, #等: 諸経費等対象額

ME801					
安定度調査結果の整理 落石・崩壊					
施設第 15号表					
金	円	10 箇所 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
計					
単価	箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME802					
安定度調査結果の整理 岩盤露頭					
施設第 16号表					
金	円	10 箇所 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
計					
単価	箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME804			安定度調査結果の整理 土石流		施設第 17号表	
金 円		10 箇所 当り		見積		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME806		安定度調査結果の整理 擁壁		施設第 18号表		
金	円	10 箇所 当り	見積			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
計						
単価		箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME850					
道路改良カルテ作成 (現地調査)			施設第 19号表		
金 円 1 式 当り			見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現地調査 落石・崩壊	箇所	3			施設第 20号表 4-4.7 見積 ME851
現地調査 岩盤崩壊	箇所	1			施設第 21号表 1-4.7 見積 ME852
現地調査 土石流	箇所	4			施設第 22号表 5-4.7 見積 ME854
現地調査 擁壁	箇所	2			施設第 23号表 3-4.7 見積 ME856
計					

1, #等: 諸経費等対象額

ME851					
現地調査 落石・崩壊			施設第 20号表		
金 円 10 箇所 当り			見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技術員	人				
計					
単価	箇所				

1, #等: 諸経費等対象額

ME852					
金 円		10 箇所 当り		見積	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
技師 (A)		人			
技師 (B)		人			
技術員		人			
計					
単価		箇所			

1, #等: 諸経費等対象額

ME854					
金 円		10 箇所 当り		見積	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
技師 (A)		人			
技師 (B)		人			
技術員		人			
計					
単価		箇所			

1, #等: 諸経費等対象額

ME856						現地調査 損壊	施設第 23号表
金	円	10 億円 当り	見値				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要		
技師 (A)	人						
技師 (B)	人						
技術員	人						
計							
単価	箇所						

1, #等: 諸経費等対象額

ME860						防犯カメラ作収	施設第 24号表
金	円	10 億円 当り	見値				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要		
技師 (A)	人						
技師 (C)	人						
技術員	人						
計							
単価	箇所						

1, #等: 諸経費等対象額

ME870 道路防災点検結果一覧表の作成						施設第 25号表
金	円	1 乗客 当り	見積			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
主任技師	人					
技師 (A)	人					
技師 (C)	人					
技術員	人					
計						

1, #等: 諸経費等対象額

ME880 防災対策工事実施計画の策定						施設第 26号表
金	円	10 箇所 当り	見積			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
主任技師	人					
技師 (A)	人					
技師 (B)	人					
技術員	人					
計						
単価	箇所					

1, #等: 諸経費等対象額

金 円 1 繰越 当り 打合せ等 中間打合せ=5回 施設第 27号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
業務着手時					
	回				
中間打合せ					
	回				
成果品納入時					
	回				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

ME890 報告書の作成 施設第 28号表					
金 円 1 繰越 当り	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師					
	人				
技師 (A)					
	人				
技師 (B)					
	人				
技師 (C)					
	人				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

(国) 362号道路防災点検数量表【山東-小石間その2】

(国) 362号

安定度調査実施箇所
合計

13

※路面からの高低差

A	落石・崩壊	50m 未満	50m以上 ～75m未満	75m以上 ～100m未満	100m以上 ～150m未満	150m以上 ～200m未満	200m以上 ～300m未満	300m以上 ～500m未満	500m 以上	合計
		4								4

※路面からの高低差

B	岩盤崩壊	50m 未満	50m以上 ～75m未満	75m以上 ～100m未満	100m以上 ～150m未満	150m以上 ～200m未満	200m以上 ～300m未満	300m以上 ～500m未満	500m 以上	合計
		1								1

※点検対象面積

C	地すべり	20千m2 未満	20千m2以上 ～40千m2未満	40千m2以上 ～60千m2未満	60千m2以上 ～80千m2未満	80千m2以上 ～100千m2未満	100千m2以上 ～200千m2未満	200千m2以上 ～400千m2未満	400千m2以上 ～800千m2未満	800千m2 以上	合計
											0

※点検対象面積

E	土石流	5千m2 未満	5千m2以上 ～10千m2未満	10千m2以上 ～15千m2未満	15千m2以上 ～20千m2未満	20千m2以上 ～30千m2未満	30千m2以上 ～50千m2未満	50千m2以上 ～100千m2未満	100千m2 以上	合計
						1	3		1	5

※点検対象面積

F	盛土	0.5千m2 未満	0.5千m2以上 ～1千m2未満	1千m2以上 ～2千m2未満	2千m2以上 ～3千m2未満	3千m2以上 ～4千m2未満	4千m2 以上	合計
								0

※点検対象面積

G	擁壁	0.25千m2未満	0.25千m2以上 ～0.5千m2未満	0.5千m2以上 ～1千m2未満	1千m2以上 ～3千m2未満	3千m2 以上	合計
		2		1			3

道路防災点検対象一覧表 (国)362号 (1/1)

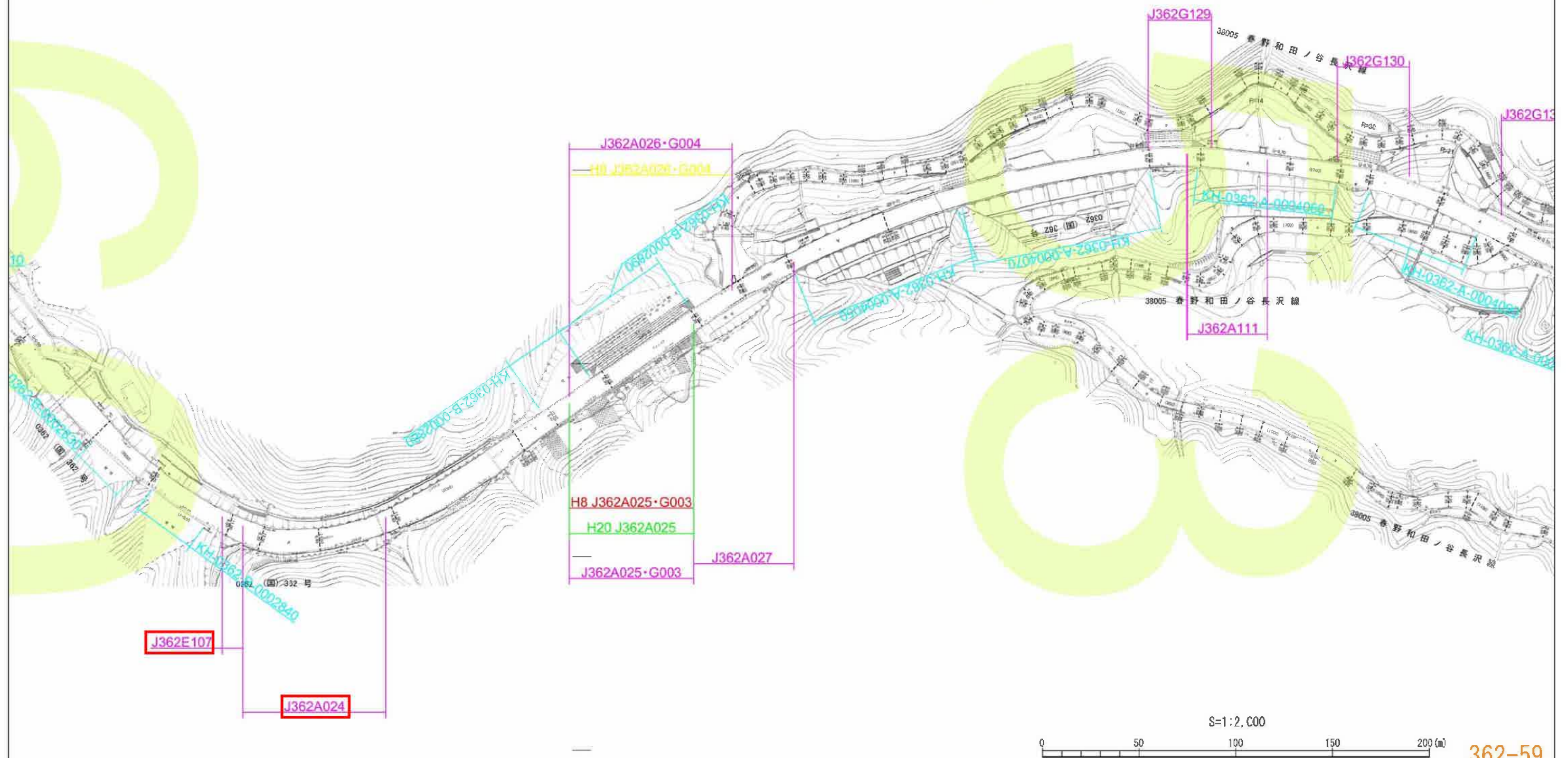
H28 施設管理番号	H8 施設管理番号	路線番号	路線名	点検項目	H2点検	H8 1次点検	H8 2次点検	H2点検結果	H8点検結果	H28点検	A・B・J: 比高差 (m) C・E・F・G: 面積 (千m2) H: 橋梁下部工数 (脚)
					○: 点検実施	×: 未点検又は実施しない		ランク: I ~ IV	1. 要対策 2. 防災カルテ 3. 対策不要	備考	
G J362G127		362	(国)362号	G 擁壁							0.15
A J362A021	J362A021	362	(国)362号	A 落石・崩壊	○	○	×	III	-		45
G J362G128		362	(国)362号	G 擁壁							0.23
A J362A022	J362A022	362	(国)362号	A 落石・崩壊	-	○	○	-	防災カルテ		40
G J362G002	J362G002	362	(国)362号	G 擁壁	-	○	○	-	防災カルテ		0.90
E J362E103		362	(国)362号	E 土石流							21
E J362E104		362	(国)362号	E 土石流							33
A J362A110		362	(国)362号	A 落石・崩壊							35
E J362E105		362	(国)362号	E 土石流							37
B J362B002	J362B002	362	(国)362号	B 岩石崩壊	○	○	×	III	-		25
E J362E106		362	(国)362号	E 土石流							132
E J362E107		362	(国)362号	E 土石流							33
A J362A024	J362A024	362	(国)362号	A 落石・崩壊	○	○	×	II	-		40

位置図

：道路防災点検実施箇所



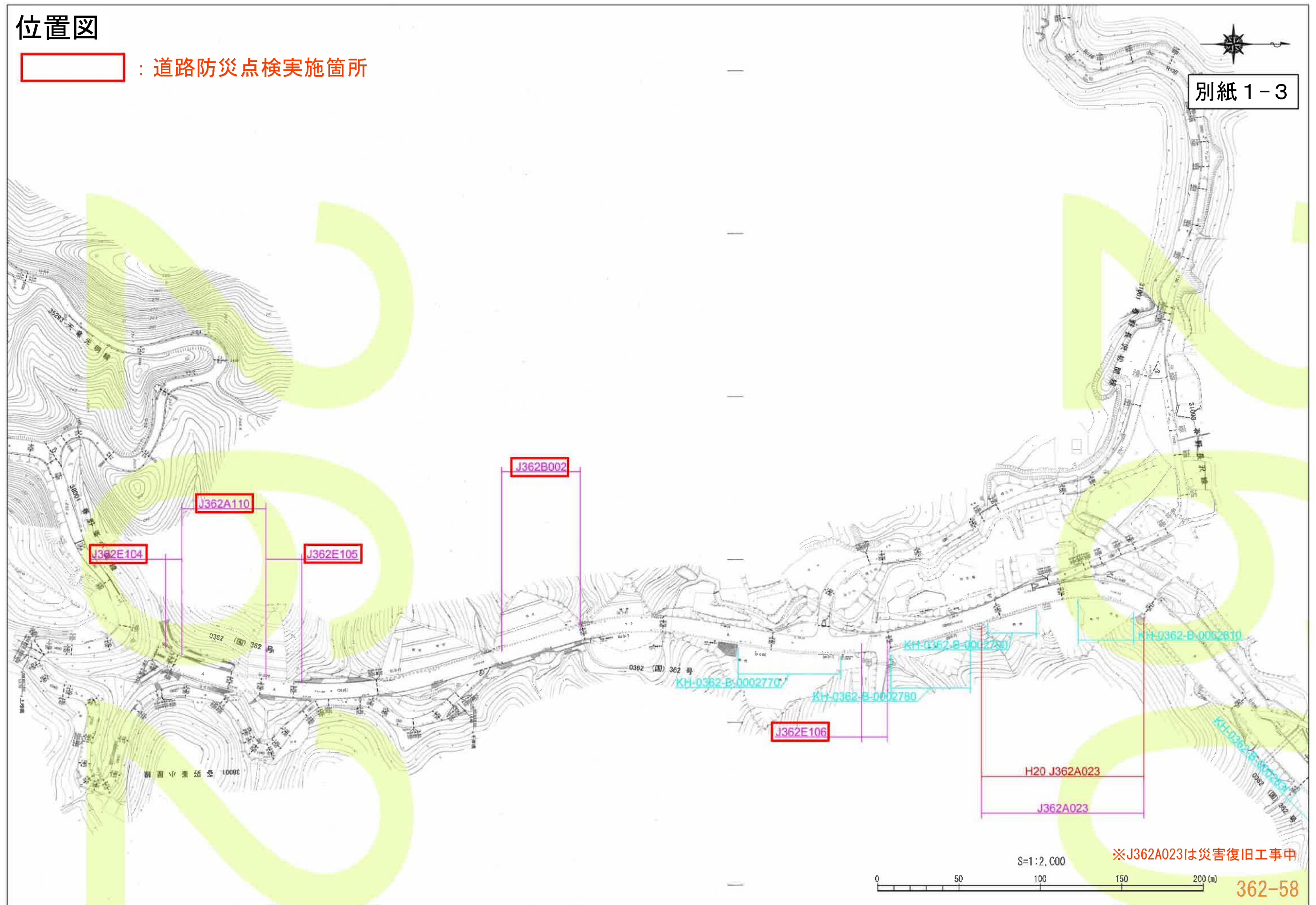
別紙 1 - 3



位置図

: 道路防災点検実施箇所

別紙 1-3

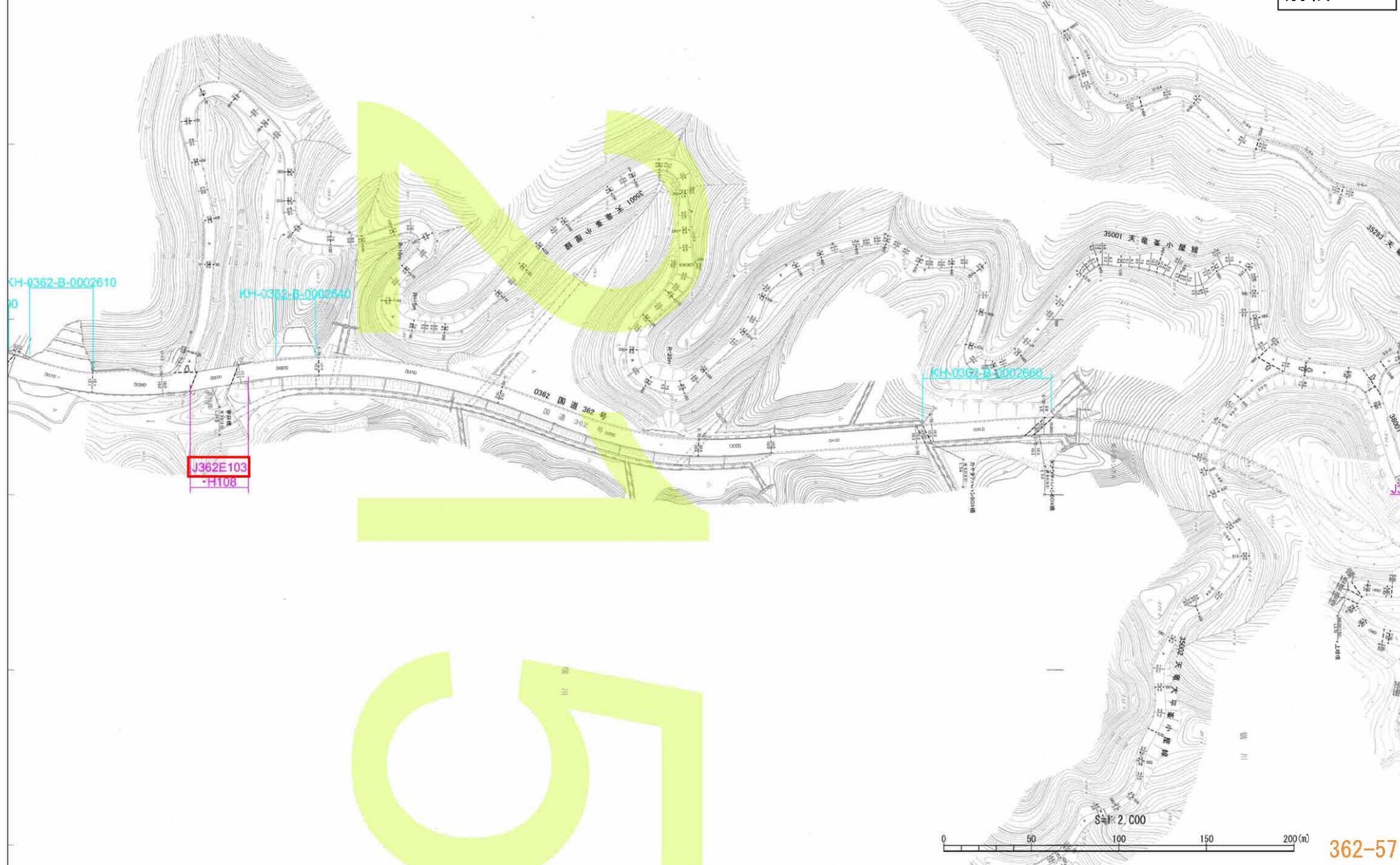


位置図

: 道路防災点検実施箇所



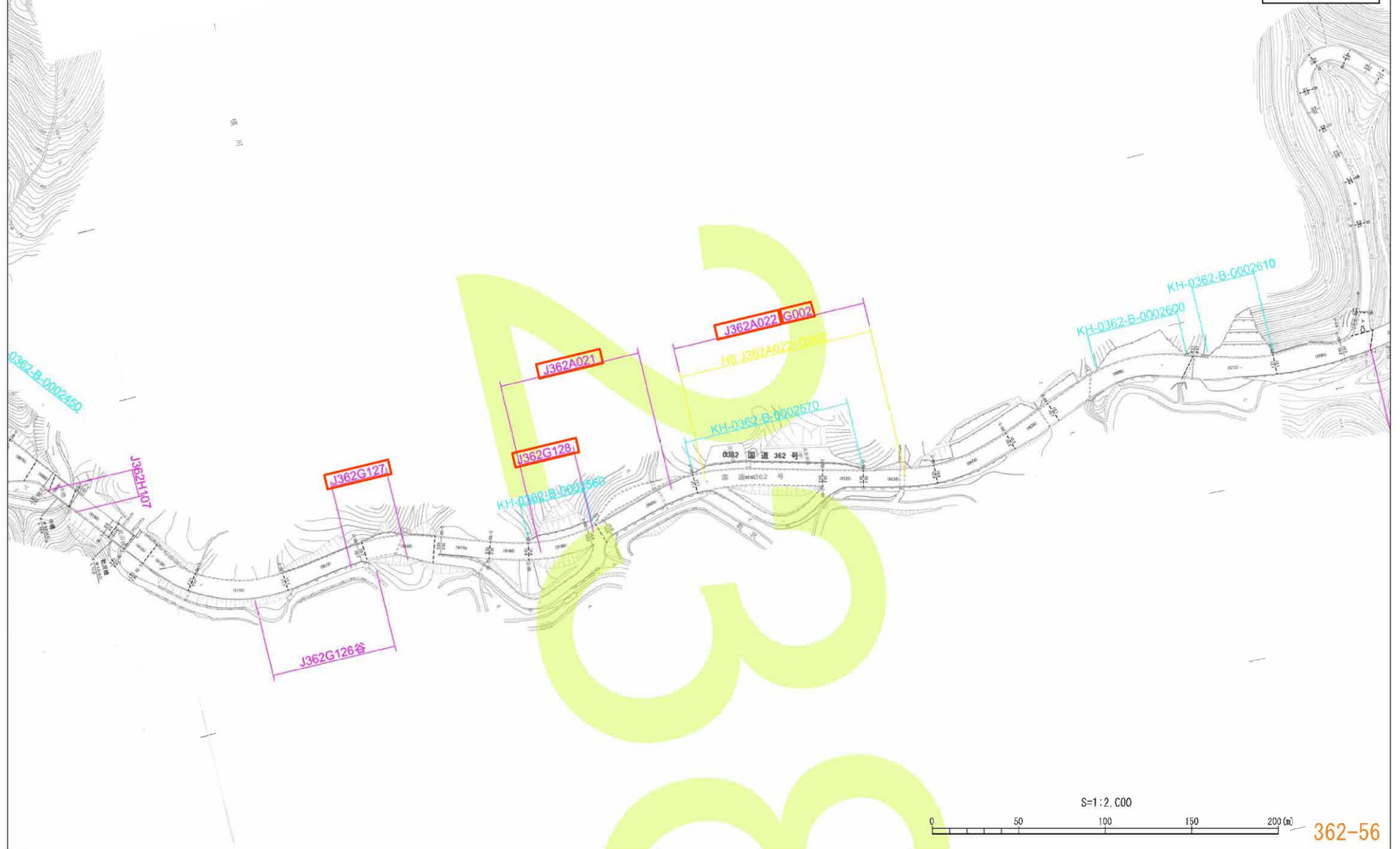
別紙 1-3



位置図

: 道路防災点検実施箇所

別紙 1 - 3



添付書類一覧（特記仕様書等）		添付
【契約関係及び全般】		
契約条件に関する特記仕様書（債務関連）		
委託特記仕様書（直接人件費100万円以上）		○
委託特記仕様書（直接人件費100万円未満）		
【業務実施関係】		
浜松市測量・調査業務共通仕様書		○
浜松市土木設計業務共通仕様書		
電算帳票作成業務委託特記仕様書		
委託業務検討会特記仕様書		
落橋防止構造等に関する特記仕様書		
新技術の活用に関する特記仕様書		
土質調査（CBR試験）に関する特記仕様書		
塩化物試験特記仕様書		
橋梁修繕標準特記仕様書		
橋梁補修設計に伴う舗装厚試験調査 特記仕様書		
橋梁補修設計に伴う中性化試験（ドリル法）特記仕様書		
橋梁補修設計に伴う塗膜分析調査特記仕様書		
照査特記仕様書		
道路トンネル修繕設計特記仕様書		
道路橋定期点検業務における新技術活用の特記仕様書		
道路トンネル定期点検業務に関する特記仕様書		
道路橋定期点検業務に関する特記仕様書		
履行条件明示		
【納品書類関係】		
電子納品に関する特記仕様書		
【業務環境関係】		

「測量」「地質・土質調査」用

共通仕様書の適用について

- 1 本業務に適用する共通仕様書は、『浜松市土木工事関連委託業務共通仕様書（平成26年4月1日制定）』（以下「共通仕様書」という。）とし、その後の改定を含むものとする。（共通仕様書の最新版は、浜松市ホームページに掲載）
- 2 主任技術者又は管理技術者等の経歴書を着手届と同時に提出すること。（共通仕様書第7条参照）

特記仕様書

1 適用範囲

本特記仕様書は、浜松市(以下、「委託者」という。)が委託する「令和7年度道路防災国交付金事業(防災・安全交)(国)362号道路防災点検業務(山東-小石間その2)」(以下「本業務」という。)に適用する。本特記仕様書は、「浜松市土木工事関連業務委託共通仕様書(令和4年4月 浜松市)」(以下、「共通仕様書」という。)を補足し、業務に関する作業方法等の必要事項を規定するものである。

2 業務目的

本業務は、近年道路斜面施設の老朽化による変状の顕著化、また、台風や集中豪雨による道路斜面災害が多発していることから、浜松市斜面对策・道路土工構造物維持管理ガイドラインで定めた重要路線である(国)362号の平成28年度に実施した道路防災点検(2次絞込み)によって選定された箇所において、「(参考資料)点検要領(平成18年9月:一般社団法人全国地質調査業協会連合会)」、「道路防災点検の手引き(豪雨・豪雪等)(令和4年3月:財団法人道路保全技術センター)」及び「防災カルテ作成・運用要領(平成8年12月:財団法人道路保全技術センター)」に基づき、安定度調査及び道路防災カルテ作成を行うものである。

3 適用基準等

本業務は、共通仕様書及び本特記仕様書によるほか、以下の表1の適用基準等に基づき実施する。

表1 適用基準等

名称	発行機関	発行年	適用
浜松市土木工事関連業務委託共通仕様書	浜松市	令和4年4月	
浜松市斜面对策・道路土工構造物維持管理ガイドライン	浜松市土木部	令和3年3月	
道路防災点検要領	一般社団法人 全国地質調査業協会連合会	平成18年9月	
防災カルテ作成・運用要領	財団法人 道路保全技術センター	平成8年12月	
道路防災点検の手引き(豪雨・豪雪等)	財団法人 道路保全技術センター	令和4年3月	

※更新されている場合は最新版を使用する

4 業務対象

本業務の対象は、別紙1「道路防災点検対象一覧表及び位置図」のとおりとする。

・道路防災点検：13 箇所(表 2)

表 2 道路防災点検箇所表

道路防災点検	A 落石・崩 壊	B 岩盤崩 壊	C 地すべり	E 土石流	F 盛土	G 擁壁	計
点検箇所数	4	1	-	5	-	3	13

・道路防災カルテ作成：10 箇所

・防災対策計画の策定：4箇所

5 業務の体制

受託者は、本業務を実施するにあたり、それぞれ以下の資格と実務経験を有する者を配し、委託者に通知しなければならない。なお、業務責任者は診断員を兼務することができる。

(1) 業務責任者

道路防災点検の実績及び道路防災設計における実務経験を有し(実務経験は、大卒については5年以上、短大・高専卒については8年以上、高校卒については 11 年以上の実務経験を有する者とする。)、以下のいずれかの資格を有する者。

- ・技術士(総合技術監理部門、建設部門「土質及び基礎、河川・砂防及び海岸・海洋」又は応用理学部門「地質」のいずれか)を有する者。
- ・国土交通省登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程に基づく「地質・土質」の施設分野において、「調査」として管理技術者登録された資格(ただし、地質調査技士資格者(土壌・地下水汚染部門)、又は港湾海洋調査士(土質・地質調査)は除く))を有する者。
- ・国土交通省登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程)に基づく「道路土工構造物(土工)」の施設分野において、「診断」と登録された資格を(ただし、都市道路点検診断士は除く)有すもの。

(2) 担当技術者

1) 診断員

道路防災点検の実績及び道路防災設計における実務経験を有し(実務経験は、大卒については5年以上、短大・高専卒については8年以上、高校卒については 11 年以上の実務経験を有する者とする。)、以下のいずれかの資格を有する者。なお、診断員は業務責任者を兼務することが

- ・技術士(総合技術監理部門、建設部門「土質及び基礎、河川・砂防及び海岸・海洋」又は応用理学部門「地質」のいずれか)を有する者。
- ・国土交通省登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程に基づく「地質・土質」の施設分野において、「調査」として管理技術者登録された資格(ただし、地質調査技士資格者(土壌・地下水汚染部門)、又は港湾海洋調査士(土質・地質調査)又は土壌環境監理士は除く)を有する者。
- ・国土交通省登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程に基づく「道路土工構造物(土工)」の施設分野において、「診断」と登録された資格(ただし、都市道路点検診断士は除く))を有する者。

2)点検員

地質調査又は道路防災点検の実績又は道路防災設計に関する実務経験を有し(実務経験は、大卒については5年以上、短大・高専卒については8年以上、高校卒については 11 年以上の実務経験を有する者とする。)、以下のいずれかの資格等を有する者。

- ・技術士(総合技術監理部門、建設部門「土質及び基礎、河川・砂防及び海岸・海洋」又は応用理学部門「地質」のいずれか)を有するもの。
- ・国土交通省登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程に基づく「地質・土質」の施設分野において、「調査」として登録された資格(ただし、地質調査技士資格者(土壌・地下水汚染部門)、又は港湾海洋調査士(土質・地質調査)は除く))を有する者。
- ・国土交通省登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程に基づく「道路土工構造物(土工)」の施設分野において、「点検もしくは診断」と登録された資格)を有する者。
- ・道路防災点検要領が改訂された平成 18 年 9 月以降に、財団法人道路保全技術センター又は一般社団法人全国地質調査業協会連合会等主催の「道路防災点検技術講習会」を受講し、講習会受講証明書を交付された者。

6 業務内容

本業務の作業内容は、以下のとおりとする。

6.1 計画準備

(1)業務計画書作成

業務の遂行に先立ち、受託者は特記仕様書に基づき業務計画書を作成し、業務の目的、内容、工程、遂行体制、使用する図書及び基準等について委託者と確認を行い、委託者へ提出する。

(2)資料收集整理

点検、維持管理計画の作成等に必要な資料を収集し、整理する。なお、本業務に必要な以下の資料は委託者より提供する。(ただし、既存資料があるものについてのみの提供)

- 道路防災点検対象一覧表(別紙1)・位置図
- 道路台帳図
- 建設時の設計図書や地質関係資料
- 地形図、航空レーザ測量成果
- 道路防災点検結果(第2絞込み結果も含む)
- 災害履歴
- その他、委託者が必要と認めた資料

6.2 道路防災点検

机上調査及び現地踏査を実施した後、点検実施計画書を作成し、現地にて点検を実施する。なお、点検時に緊急対応が必要と判断される変状を発見した場合は、直ちに委託者へ報告する。

(1) 現地踏査

机上調査後、道路防災点検箇所について現地踏査にて以下の作業を行う。

- 点検区間・箇所の照合
- 遠望目視(点検区域全体を遠望から観察し、斜面状況等を把握)
- 点検区間や箇所の状況把握
- 点検方法や足場等の資機材の計画立案に必要な情報把握
- 交通状況や点検に伴う交通規制、安全対策の方法の把握

(2) 点検実施計画書作成

現地踏査後、各点検に先立ち点検実施計画書を作成する。なお、点検実施計画書には、以下の項目を記載するものとし、必要に応じ関係機関協議資料を併せて作成する。

- 1) 業務概要
- 2) 点検対象概要(諸元等)
- 3) 点検位置図(浜松市天竜区)
- 4) 現地踏査の調査記録(箇所毎)
- 5) 実施方針(点検方法、点検数量、使用機械、仮設備等)
- 6) 実施工程
- 7) 実施体制(点検に従事する者の氏名、資格、作業内容等)
- 8) 連絡体制(緊急時含む)
- 9) 安全管理計画(交通規制含む)
- 10) その他委託者が必要と判断した事項

(3) 道路防災点検

1) 安定度調査(現地調査)

平成28年度に実施した当該路線の道路防災点検(第2絞込み)により選定された安定度調査箇所について、道路防災点検要領(一般社団法人全国地質調査業協会連合会・平成18年9月)等

基づき、現地調査を行う。なお、調査にあたっては、発生源の踏査まで行う事を基本とし、発生源への接近が困難な場合は、対応について監督員と協議すること。

2) 点検記録様式作成

点検記録様式(様式 0～16(点検対象項目で指定された様式を使用)・斜面对策計画)を作成する。各点検記録様式の一覧を表 3 に示す。なお、点検記録様式については委託者から提供するものとし、各点検記録様式の作成にあたっては、項目の記入方法(路線名、フォントの全角・半角の別等)、背景図とその縮尺、ファイル名等について委託者と協議し決定する。また、「7.成果品」で定める電子データとは別にオリジナルファイルを委託者に提出すること。

表 3 道路防災点検記録様式の一覧

項目	様式番号	様式名	内容	略名
集計	様式 0	道路防災点検(安定度調査)結果一覧表	調査結果集計	浜松市様式
安定度調査表	様式 1	調査結果一覧表	調査結果	(社)全国地質調査業連合会様式
	様式 2	箇所別記録表(落石・崩壊)	点検箇所の諸元や点検所見等	
	様式 3	箇所別記録表(岩盤崩壊・地すべり・土石流・盛土・擁壁)	点検箇所の諸元や点検所見等	
	様式 7	安定度調査表(落石・崩壊)	点検項目における評価	
	様式 8	安定度調査表(岩盤崩壊)	点検項目における評価	
	様式 9	安定度調査表(地すべり)	点検項目における評価	
	様式 11	安定度調査表(土石流)	点検項目における評価	
	様式 12	安定度調査表(盛土)	点検項目における評価	
	様式 13	安定度調査表(擁壁)	点検項目における評価	
	様式 16	被災履歴記録表	被災状況や規模・要因等	
	現状記録写真	現状記録写真表	点検時の状況写真	
対策計画	斜面对策計画	斜面对策計画表	点検結果一覧、防災対策計画	浜松市様式

3)道路防災カルテ作成

①現地調査

6.2.(5).1)安定度調査(現地調査)により「要対策(対策が必要と判断される)」及び「カルテ対応(防災カルテを作成し対応する)」と区分された箇所において、防災カルテ作成のための現地調査を行う。

②防災カルテの作成

①現地調査の結果をもとに、防災カルテを作成する。防災カルテ様式の一覧を表 4 に示す。

表 4 防災カルテ様式の一覧

項目	様式	記載内容	備考	略名
防災カルテ	様式 A	点検対象の全景等		(社)全国地質調査業連合会様式
	様式 B	点検対象の全景と点検方法等	変状状況を詳細に記載	
	様式 C	点検対象の中でも着目すべき変状		
	様式 D	点検結果、被災履歴、補修履歴等	被災・補修を確認した場合に適宜作成	
	現状写真記録	詳細な被災履歴、補修履歴等	様式 A～D に納まらない場合に作成	
	写真位置図	点検時の状況写真	現状写真記録に記録した写真撮影位置図	

4) 防災対策計画の策定

道路防災点検の結果を踏まえ、浜松市斜面对策・道路土工構造物維持管理ガイドラインに基づき、効率かつ効果的に行うため、判定区分「要対策」の箇所について防災対策計画を策定する。変状の原因を正確に把握した上で、必要な対策について概略的な計画検討を行う。対策については、対策の効果、施工性、安全性、経済性及び施工時期等について留意し検討を行い、概算工事費を既存の類似実績を基に施工規模と単価から推定し算出すると共に詳細調査の調査手法について計画立案する。

6.3 報告書作成

本業務にて実施・検討した内容について取りまとめた報告書を作成する。

道路防災点検結果(安定度調査結果及び防災カルテ)については、各施設番号別に電子データ(データ名は各点検管理番号とする)で作成するほか、書類として各施設番号別にインデックスを付けて報告書を作成すること。

6.4 打合せ協議

本業務における打ち合わせ協議の回数は、原則として業務着手時、中間(5 回)及び成果品納入時の計 7 回とする。その他協議が必要な場合は、委託者が別途指示するものとする。なお、全ての打合せに、原則として担当技術者の診断員が立ち会うものとする。また、打合せの際は、「打合せ記録簿」に内容記録し、相互に確認しなければならない。

・業務着手時

・中間時 5 回：机上調査・現地調査結果、及び点検実施計画書策定(1 回)

各種点検結果報告(2 回)

防災カルテ作成、防災対策計画策定、概算工事算定(2回)

・成果品納入時

7 成果品

本業務における納入成果品は、以下のとおりとする。

- | | |
|--------------------------------|----|
| (1)業務報告書(A4版製本) | 2部 |
| (2)業務報告書(概要版) | 2部 |
| (3)業務報告書の電子データ(DVD-R等の電子媒体に記録) | 2部 |

8 貸与資料

本業務における貸与資料は「6.1 計画準備(2)資料収集整理」に示す資料とする。また、道路防災点検結果(第2絞込み結果も含む)については以下の過年度成果品である。

・平成28年度防災・安全交付金(災害防除)事業(国)362号(天竜区内)道路防災点検業務

9 疑義

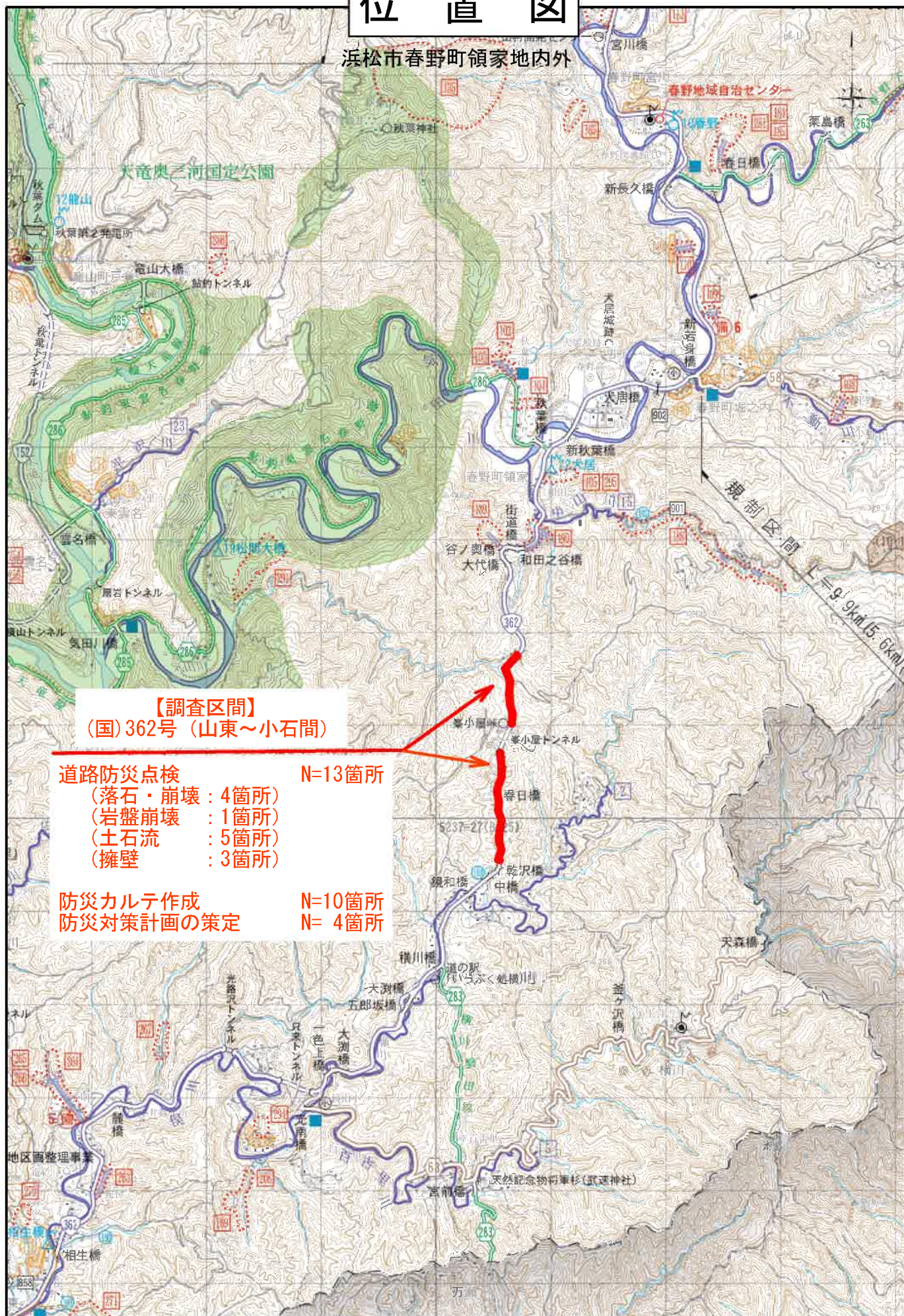
業務実施にあたり、本特記仕様書及び設計図書等に明示なき事項又は疑義を生じた場合には、速やかに委託者に申し出て、協議の上これを定めるものとする。

10 その他

- ・直ちに道路へ影響の出る可能性がある変状を確認した場合は、速やかに委託者へ連絡する。
- ・点検を実施するにあたり、非効率であり改善すべき点がある場合は提案するものとする。

位置図

浜松市春野町領家地内外



【調査区間】
(国)362号 (山東～小石間)

道路防災点検 N=13箇所

(落石・崩壊)	: 4箇所
(岩盤崩壊)	: 1箇所
(土石流)	: 5箇所
(擁壁)	: 3箇所

防災カルテ作成 N=10箇所
防災対策計画の策定 N= 4箇所

0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 km

1:50000
16

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。（承認番号 平18 部使、第 50 号）」

